

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 こどもプラス三日月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		角部分には、吸収材を使用。つけている。	ドアの部分に多少の段差はあるが問題ない。マットの端の部分の捲れが気になるが、その都度修繕している。張替えも検討中。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			評価はしてもらっているが、別にアンケート調査をし、もっと意見をもらっても良いと思われる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている					実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		どうしても必要な場合オンライン等を使い研修を受けてる。	人員不足の為、外部での研修は難しい。また、人員確保ができる時、タイミングが合えば研修を受けに行っている。
適切 な 支 援 の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			全体で話し合いを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			子どもの意見を取り入れた活動をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			長期休暇には、なかなか行事を入れる事の出来ない曜日に入れ	慣れない事をする為、支援内容を細かく話し合い活動に取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			集団活動の中で、困りごとに対する課題を見つけていき、個別に対応できるような計画を作	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				細かく記録を取るようにし、気になる事があった時には、早めに話し合いをし保護者様と連絡を取り合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—		基本的には受け入れは難しい。医療的ケアの状態にもよる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1			要望があれば、提供している。 今後は積極的に情報提供をしていき、子どもの事を知ってもらおうようにしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6			設定して活動する機会を作っていないが、公園やイベントに出かけた時に、仲良くなり一緒に遊んでいる。また、高齢者施設への訪問し交流をしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	2			人員が確保できた時には、参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6					

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2			相談がある時、モニタリングの時には行っているが、こちらから困りごとはないかを聞いていっても良いかと思われる。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			相談しやすいようメールも活用している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			子どもや保護者のために楽しく参加できる行事を行い、話しやすい環境作りをしている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				少しでも疑問を持った時には、すぐに連絡をして貰うようにしていきたい。定期的なアンケート調査をするなど検討中。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3	地域のスペース等を使わせてもら、地域の方に知ってもらうようにし、子ども達の困りごとを少しでも減らす事ができるように	招待することは行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2			マニュアル策定はしているが、保護者様へ、もっとお便り等を使い周知していく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				消防署訪問や消防隊員の方に来てもらい、話を聞いたり、一緒に訓練をしてもらったたりしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				現在は、身体拘束をすることは無い。契約時、文書での説明。やむを得ずの場合には保護者様に説明し記載もしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			該当なし。今後アレルギー対応をしなればいけない時には、対応をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				小さなことでも記載し、今後の対応についての話し合いも行っている。